	44	人・パング・ナー かたれ				
開講区分		合ビジネス学科 見光ビジネスコース	開講時期	前期		
科目名称	商業簿記		履修	必履修		
担当講師	工藤コ	三岡川				
担当講師の 実務経験の有無	<b>#</b>	• 有(	)			
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		72		単位時間		
	4月	第1章 簿記の基本	〜第2章 試算表ま	で		
	5月	第3章~決算の処理	里~第4章 伝票会記	+		
	6月	過去問題·予想問題	<b>運演習</b>			
	7月					
	8月					
松米当工	9月					
授業計画	10月					
	11月					
	12月	月				
	1月					
	2月					
	3月					
授業概要	簿記の基本として日本商工会議所簿記検定3級の合格を目指す。簿記の基本を学ぶことでその後の授業の理解度の向上や、卒業後の社会での経理感覚を養うことに繋がる。					
授業目標	6月の日商簿記3級検定の合格					
成績評価	年度 <i>0</i> 結果で [評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。				

	4/1	合ビジネス学科				
開講区分		台にシネス子科 見光ビジネスコース	開講時期	前期		
科目名称	Ī	商業簿記演習	履修	必履修		
担当講師	工藤』	三岡川				
担当講師の 実務経験の有無	<b>#</b>	· 有(	)			
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	演習		
単位時間数		72		単位時間		
	4月	第1章 簿記の基本	〜第2章 試算表ま	で		
	5月	第3章~決算の処理	里~第4章 伝票会記	+		
	6月	過去問題·予想問題	<b>夏演習</b>			
	7月					
	8月					
전 <del>사</del> 키 그:	9月					
授業計画	10月	0月				
	11月					
	12月	12月				
	1月					
	2月					
	3月	3月				
授業概要	簿記の基本として日本商工会議所簿記検定3級の合格を目指す。「商業簿記」で学んだ知識を主に演習を通じて理解の定着を図る					
授業目標	6月の日商簿記3級検定の合格					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分		合ビジネス学科 経理マネシ・メントコース	開講時期	前期		
科目名称	実践英会話 I		履修	必履修		
担当講師	一方扌	井 良枝				
担当講師の 実務経験の有無	<b>#</b>	· 有(	)			
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		38		単位時間		
	4月	簡単な挨拶、自己終	召介			
	5月	日常生活について	①(趣味、好きな事)	現在形		
	6月	日常生活について	②(家族·衣食住)	現在形		
	7月	日常生活について③(今まで経験したこと)現在完了形と過去形				
	8月	月 日常生活について④(今まで経験したこと)その2				
松光引用	9月	日常生活について⑤(自分の理想像)未来形				
授業計画	10月					
	11月					
	12月					
	1月					
	2月					
	3月					
授業概要	毎回テーマを決め、その質問に沿って答えを英作文でまとめる。 教室では生徒同士、教師対生徒でその英作文を基に会話練習を行う。 また、毎回英文を決められた時間内で暗記を行う。					
授業目標	臆することなく一言でも、二言でも英語で自分の思いや意見を発信すること。時制を使い分ける。					
成績評価	年度の 結果で [評価	ること。時間を使い分ける。 履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該 年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その 結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、 49~0点は「不可」とする。				

開講区分		合ビジネス学科 見光ビジネスコース	開講時期	前期		
科目名称	一般教養 I		履修	必履修		
担当講師	工藤』	三剛・東海林千秋				
担当講師の 実務経験の有無	<b>(#</b> )	• 有(	)			
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		90		単位時間		
	4月	勉強の仕方、聞き力	方の基本			
	5月	言語: 語句~ 慣	用句 非言語:基础	<b></b>		
	6月	言語:慣用句、熟語	非言語:数的処	理①		
	7月	言語:敬語 非言語:数的処理②				
	8月	言語:長文読解 非言語:数的処理③				
授業計画	9月	言語:言語問題 非言語:図表解釈				
1文 未	10月					
	11月					
	12月					
	1月	月				
	2月	2月				
	3月					
授業概要	一般教養として言語系、非言語系を学び、将来の就職試験に活かすとともに社会での一般教養を獲得する。					
授業目標	就職試験への対応と一般教養の獲得					
成績評価	年度の 結果で [評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。				

	終	合ビジネス学科				
開講区分	観光ビジネスコース		開講時期	前期		
科目名称	[	国内旅行地理	履修	必履修		
担当講師	東海ホ	<b>木千秋、玉澤浩光</b>				
担当講師の 実務経験の有無	<b>#</b>	· 有(	)			
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		60		単位時間		
	4月					
	5月					
	6月	都道府県別観光資	源①			
	7月	月 都道府県別観光資源②				
	8月	月 世界遺産・国立公園等				
전 쌍 키 <del>프</del> :	9月	9月 国内旅行プラン作成				
授業計画	10月	)Д				
	11月	11月				
	12月	12月				
	1月	1月				
	2月	2月				
	3月	3月				
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験のうち「国内の観光資源」の分野について学習する。9月の検定後は国内旅行におけるプラン作成を行う。					
授業目標	9月の国内旅行業務取扱管理者試験の合格					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分		合ビジネス学科 見光ビジネスコース	開講時期	前期		
科目名称	国内旅行概論		履修	必履修		
担当講師	玉澤浩	5光				
担当講師の 実務経験の有無	無 •	有 (元旅行会社)	勤務。旅行業務に携	わる。関係資格取得者。)		
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		60		単位時間		
	4月					
	5月					
	6月	旅行業法				
	7月	標準旅行約款				
	8月	8月 運送・宿泊約款				
授業計画	9月	9月				
<b>坟</b> 耒訂画	10月	10月				
	11月					
	12月					
	1月					
	2月					
	3月	3月				
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験のうち「旅行業法、旅行業約款」の分野について学習する。					
授業目標	9月の国内旅行業務取扱管理者試験の合格					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分		合ビジネス学科 見光ビジネスコース	開講時期	前期		
 科目名称	国内旅行演習		 履修	 必履修		
担当講師	玉澤浩	 5光	,			
担当講師の 実務経験の有無	無 •	有 (元旅行会社前	勘務。旅行業務に携	わる。関係資格取得者。)		
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	演習		
単位時間数		60		単位時間		
	4月					
	5月					
	6月	国内旅行実務				
	7月	7月 既学習分野演習				
	8月	月 過去問対策				
松光計画	9月	A Company of the comp				
授業計画	10月	月				
	11月					
	12月					
	1月					
	2月					
	3月					
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験のうち「国内旅行実務」の分野について学習する。また、既学習分野の演習を行う					
授業目標	9月の国内旅行業務取扱管理者検定の合格					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分		合ビジネス学科 【光ビジネスコース	開講時期	前期		
科目名称	秘書技能 I		履修	必履修		
担当講師	東海を	<b>卡</b> 千秋				
担当講師の 実務経験の有無	<b>(#</b> )	<ul><li>有(</li></ul>	)			
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		12		単位時間		
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月					
松光引血	9月	ビジネス社会の常識	基礎知識			
授業計画	10月	10月				
	11月					
	12月					
	1月					
	2月					
	3月					
授業概要	基礎的なビジネスマナーを学び、将来の就職試験に活かすとともにビジネス社会での一般教養を獲得する。					
授業目標	就職試験への対応と基礎的なビジネスマナーの獲得					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分		合ビジネス学科 見光ビジネスコース	開講時期	前期		
科目名称	おもてなし論 I		履修	必履修		
担当講師	東海ホ	<b>木</b> 千秋				
担当講師の 実務経験の有無	<b>#</b>	· 有(	)			
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		18		単位時間		
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月	おもてなしの基礎 事例紹介、敬語の実践				
授業計画	9月					
(文 <del>集</del> 計画	10月					
	11月					
	12月					
	1月					
	2月	2月				
	3月					
授業概要	将来の観光業界や宿泊業界への就職を前提に観光客やお客様に対するおもてなしの精神等を学ぶ。					
授業目標	お客様に対するおもてなし(心配り)を理解・実行する。					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分		合ビジネス学科 見光ビジネスコース	開講時期	前期		
科目名称	コンヒ <sup>°</sup> ュータリテラシー I		履修	必履修		
担当講師	佐々オ	·真弓				
担当講師の 実務経験の有無	<b>#</b>	• 有(	)			
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	実習		
単位時間数		76		単位時間		
	4月	コンピュータの基礎とフ	力練習			
	5月	Wordテキストから図	形・表などの作成・約	東習		
	6月	Word3級検定問題®	の練習			
	7月	7月 Word3級検定問題のまとめ				
	8月 Excelの基礎と入力練習					
전 짜리 프	9月	表計算と関数				
授業計画	10月	10月				
	11月					
	12月					
	1月	1月				
	2月	2月				
	3月					
授業概要	コンピュータの基礎知識を学ぶとともにワープロソフトの基本操作から応用力も身に付け、さらにはExcelの基礎を身に付けることを目的とする。					
授業目標	サーティファイのWord検定3級の合格及びExcelの基礎学習					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

	総	合ビジネス学科	PP add a L Ha	// Un		
開講区分	観光ビジネスコース		開講時期	後期		
科目名称	ì	海外旅行地理	履修	必履修		
担当講師	玉澤浩	告光				
担当講師の 実務経験の有無	無・	· ( 元旅行会社	勘務。旅行業務に携	わる。関係資格取得者。)		
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		72		単位時間		
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月	月				
55 W-3  →	9月	9月				
授業計画	10月 海外の観光資源① アジア・ヨーロッパ・北米					
	11月	11月 海外の観光資源② 中南米・アフリカ・その他				
	12月					
	1月	1月				
	2月	2月				
	3月	3月				
授業概要	海外の観光資源について学び、将来の総合旅行業務取扱管理者試験の基礎知識とする。					
授業目標	海外の観光資源についての基礎知識の習得					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分		合ビジネス学科 見光ビジネスコース	開講時期	後期		
科目名称	おもてなし論Ⅱ		履修	必履修		
担当講師	東海を	木千秋、佐藤義見				
担当講師の 実務経験の有無	<b>(#</b> )	• 有(	)			
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		36		単位時間		
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月	月				
授業計画	9月	9月				
(文 <b>美</b> 正 四	10月 イベントの企画・運営・実践					
	11月	l月				
	12月	12月				
	1月	1月				
	2月	2月				
	3月					
授業概要	盛岡市の観光施設において、地域の活性化につながるイベントを企画 し、運営を実践で学ぶ					
授業目標	お客様に対するおもてなし(心配り)を理解・実行する					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分	総合ビジネス学科 観光ビジネスコース		開講時期	後期		
科目名称	実践英会話Ⅱ		履修	必履修		
担当講師	一方井 良枝					
担当講師の 実務経験の有無	(無・有( )					
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		20 単位時間				
	4月					
	5月					
	6月	月				
	7月					
	8月	8月				
松光計画	9月					
授業計画	10月 社会一般(どこにWhere~)日本で訪れたい場所					
	11月 社会一般(いつWhen~)東京オリンピック					
	12月 社会一般(何What~)日本の行事					
	1月	1月				
	2月	2月				
	3月					
授業概要	日本の社会一般事項の質問事項に答えるため、毎回テーマを決めて事前にキーワードを暗記、授業で対話演習を行う。					
授業目標	観光ビジネスの現場で外国人をおもてなしできる英語を話すこと					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分	総合ビジネス学科 観光ビジネスコース		開講時期	後期		
科目名称	一般教養Ⅱ		履修	必履修		
担当講師	工藤正	三岡リ				
担当講師の 実務経験の有無	<b>(#</b> )	無・有( )				
開講曜日	月曜日~金曜日 授業の方法 講郭			講義		
単位時間数	74 単位時間			単位時間		
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月					
授業計画	9月					
1文未訂四	10月	0月				
	11月	非言語対策① 数的	的処理その1			
	12月	非言語対策② 数的処理その2				
	1月	非言語対策③ 図表解釈、論理推論				
	2月	非言語対策④ 総まとめ				
	3月	総合問題等				
授業概要	一般教養 I を受けてより就職試験を踏まえた対策授業を行う。学生の理解度を高めるため、グループ学習等も取り入れる。					
授業目標	就職試験に対応する知識の習得					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分	総合ビジネス学科 観光ビジネスコース		開講時期	後期		
科目名称	キャリアアップ I		履修	必履修		
担当講師	工藤』	工藤正剛				
担当講師の 実務経験の有無	無・有( )					
開講曜日	月曜日~金曜日 授業の方法 講			講義		
単位時間数		28		単位時間		
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月	5月				
松光計画	9月					
授業計画	10月	新聞の読み方				
	11月	時事研究				
	12月	業界研究				
	1月	文章の作成				
	2月	文章の校正・発表				
	3月	総まとめ				
授業概要	就職活動に必要な知識を主に新聞を活用して情報収集・文章作成・発表を行う。					
授業目標	就職活動及び社会に出た後の様々な知識の得方を学ぶ					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分	総合ビジネス学科 観光ビジネスコース		開講時期	後期		
科目名称	秘書技能Ⅱ		履修	必履修		
担当講師	東海林千秋					
担当講師の 実務経験の有無	無・有( )					
開講曜日	月	曜日~金曜日	授業の方法	講義		
単位時間数		82 単位時間				
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月					
松米ゴエ	9月	月				
授業計画	10月	A Company of the comp				
	11月	秘書的業務の基本	知識			
	12月	電話応対、敬語と指	<b></b>			
	1月	<b>冠婚葬祭の知識とマナー</b>				
	2月	ビジネス文書の基本知識				
	3月	総まとめ				
授業概要	基本的ビネスマナーを学び、秘書技能3級の知識を習得する。2年次の 秘書技能2級のための基礎知識とする。お互いの気持ちや心を尊重す ることがマナーの基本であることを理解させる。					
授業目標	基礎的ビジネスマナーの習得					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

開講区分	総合ビジネス学科 観光ビジネスコース		開講時期	後期		
科目名称	就業実習講座		履修	必履修		
担当講師	東海ホ	木千秋				
担当講師の 実務経験の有無	無・有( )					
開講曜日	月曜日~金曜日		授業の方法	実習		
単位時間数		70		単位時間		
	4月					
	5月					
	6月					
	7月					
	8月					
授業計画	9月					
(文 <del>集</del> 計画	10月	10月				
	11月					
	12月					
	1月	就業前のビジネスの基本、提携企業での就業体験				
	2月	就業体験を通じた感想・振り返り等				
	3月					
授業概要	提携先の企業と連携し、就業体験を通じ外部評価を受けることにより就職活動に活かす。					
授業目標	実際の企業での就業体験を通じ自分の就業感を確立する。					
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。					

F			1	,			
開講区分	総合ビジネス学科 観光ビジネスコース		開講時期	後期			
科目名称	コンヒ <sup>°</sup> ュータリテラシー Ⅱ		履修	必履修			
担当講師	佐々オ	佐々木真弓					
担当講師の 実務経験の有無	無	無・有( )					
開講曜日	月	月曜日~金曜日 授業の方法 実習					
単位時間数		68 単位時間					
	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
松光引血	9月	9月					
授業計画	10月	10月 グラフ、データベース、その他					
	11月	Excel3級検定問題®	の練習				
	12月	Excel3級検定問題®	のまとめ				
	1月	Excel検定2級の準備①					
	2月	Excel検定2級の準備②					
	3月	Excel検定2級の準備③					
授業概要	表計算ソフトの基本を身に付け、表の計算から関数、グラフ、データ ベースの処理ができるようにする。						
授業目標	12月のサーティファイのExcel検定3級の合格						
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100~80点は「優」、79~60点は「良」、59~50点は「可」、49~0点は「不可」とする。						